

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和3年10月29日
住 所 北葛飾郡杉戸町倉松5-9-20
県内企業等の名称 (有)杉戸ウインドトーヨー住器
代表者役職 氏名 代表取締役 宗像吉則

(有)杉戸ウインドトーヨー住器 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社はお客様からの信用を第一に住生活に関わる企業として、SDGsの理念のもと、環境に配慮した住まいづくりを目指します。また、新時代に即応する社内体制を整備、維持に努め、社員一人一人がSDGsの意識を高め継続的に事業活動に取り組みます。そのことにより、すべての人が幸福に暮らせる社会の実現すなわちSDGsの達成に貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①LED等の省エネ設備導入や作業時間の短縮等により、電気使用量を削減する。 ②ハイブリット車への入替や、エコドライブの推進により燃費の向上を図る。 <2020年実績> ①電気使用量:14,515kwh ②1台あたり車両燃費:3.5km/l	<2030年に向けた指標> ①電気使用量の削減率10% ②1台あたり車両燃費:5km/l <取組開始3年後に向けた指標> ①電気使用量の削減率2% ②1台あたり車両燃費:4km/l
社会	①作業段取りの徹底、予定管理の工夫により、時間外労働時間を削減する。 ②従業員への積極的有給休暇取得の意識付けにより、取得率を向上させる。 <2020年実績> ①平均超過労働時間:17時間/月 ②平均年次有給休暇取得日数:5日	<2030年に向けた指標> ①超過労働時間:10時間 ②年次有給休暇取得日数:15日 <取組開始3年後に向けた指標> ①超過労働時間:13時間 ②年次有給休暇取得日数:10日
経済	断熱性能に優れた内窓:インプラスの取扱量を拡大させ、環境配慮型商品の売上アップを図る <2020年実績> 売上:28万	<2030年に向けた指標> 環境配慮型商品の売上:80万/年 <取組開始3年後に向けた指標> 環境配慮型商品の売上:50万/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。